

2017 Japan National Team Report ” コーチ ”



報告者氏名	白石 潤一郎
大会名	2017 世界選手権
開催地	タイ、パタヤ
大会期間	7/11 から 21

- 帰国後1ヶ月以内に、JODA チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です(文中に貼り付けて下さい)
 2. 他国OP艇を接近して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい

チャーター艇 メーカー	WINNER	WINNER	FAR EAST	FAR EAST	FAR EAST
----------------	--------	--------	----------	----------	----------

気象について	非常に気温と湿度が高く、ほとんどの日でスクールに見舞われた、夜に来ることが多かった。
海面(湖面)の特徴や 風の傾向	潮割りによっては潮流が強い時があった。 風は非常にノーマル、雨雲とともにガストが降りて来る事が多かった。
帆走指示書内容で特記 事項	特になし
コーチボートについて	ベルギーチームとシェア はじめに割り当てられたボートは、シクしていても使えるようなものではなかった。交渉の末変更してもらったが同じチャーターフィーを払っているとは思えないほど大きな差があった。

以下、日本チームより上位の選手、国について記入して下さい

選手の特徴、体格	今回のチームに関してはさほど変わらないように思った
機装品について	変わらない
セッティング等	変わらない
海上での練習方法	日本チームのスケジューリングでは現地ですべて練習する時間はない
セーリング技術	単純に走らせる技術に大きな差が見て取れる
戦術、戦略など	スピードとスターティングに問題があるので評価できない。
日本選手が劣っていること	スターティングテクニック、ボートスピード
日本選手が勝っていること	特になし
日本チームとしての課題	日頃の練習時間の確保、ゴールドフリートの選手たちはほぼ毎日セーリングの時間を確保していると思われる。 主体性、協働性共にスポーツ選手としてのレベルが低い
JODA への要望	ナショナルチームは少数精鋭にできないでしょうか、具体的には国際レースへの JODA からの派遣対象選手を 10 名ほどに絞りそのメンバーは毎年引退等で欠員が出た時に新たにメンバーを選考する。対象は小学校 5 年生から中学 2 年生まで。 その 10 名の中からワールド、ヨーロッパ、アジア等参加選手を選抜する。 普及の部分については別途イベント等を行う。
その他	

ご協力ありがとうございました
JODA 海外派遣委員会